

授 業 科 目	リハビリテーション医学		
教 育 内 容	専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	
担 当 教 員	阿久根徹 他		
学 年	2	単 位 数	3
開 講 時 期	後期	時 間 数	講義 45 時間

<b>■ 授業概要</b>	
<p>リハビリテーション医療は複数の医療専門職種によるチームアプローチが基本であり、義肢装具士がその一員であることは言うまでもない。ここではリハビリテーションの基礎を学ぶ。</p> <p>各論として、主に運動機能障害における能力障害の回復に主眼をおき、各疾患の病態、診断、治療、予後の基礎知識をふまえた上でリハビリテーション治療手技を学ぶ。</p>	
<b>■ 到達目標</b>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1) リハビリテーションの対象である疾患の病態を理解し、説明できる</li> <li>2) リハビリテーションにおける各種評価について説明できる</li> <li>3) 代表的な疾患のリハビリテーションについて説明できる</li> </ol>	
<b>■ 授業内容</b>	
第 1 回	概論
第 2,3 回	障害の評価と治療
第 4,5 回	切断のリハビリテーション
第 6,7 回	脊髄損傷のリハビリテーション
第 8,9 回	脳血管障害 1
第 10,11 回	脳血管障害 2
第 12,13 回	神経筋疾患のリハビリテーション
第 14,15 回	骨関節疾患のリハビリテーション (関節リウマチ含む)
第 16,17 回	高齢者のリハビリテーション
第 18,19 回	小児のリハビリテーション
第 20,21 回	外傷性脳損傷のリハビリテーション
第 22,23 回	内部障害 (呼吸・循環器) のリハビリテーション
<b>■ 評価方法</b>	
<p>筆記試験を実施して評価する。</p> <p>筆記試験 100%</p>	
<b>■ 教科書</b>	
<p>「学生のためのリハビリテーション医学概論」 医歯薬出版</p> <p>「リハビリテーション医学・医療コアテキスト」 医学書院</p>	
<b>■ 留意事項・その他</b>	
<p>&lt;担当教員の実務経験&gt;</p> <p>阿久根徹：本リハビリテーションセンター病院の医師として勤務。</p>	